

映画美学校+アテネ・フランセ文化センター公開講座

ドキュメンタリー映画史 総論

日程：2016年5月7日（土）-2017年4月22日（土）

※全13回・毎月1回・土曜日・17:00-19:30/2017年4月のみ月2回

会場：アテネ・フランセ文化センター（御茶ノ水）

講師：筒井武文

（映画監督・東京藝術大学大学院教授・映画美学校講師）

映画美学校ドキュメンタリー・コースの特別講座として、
2010年より開講してきた筒井武文監督による
「ドキュメンタリー映画史」講座。
その総集編として、新たに13のテーマを設定、
貴重な映像資料を分析しながら総論を展開していただきます。

講師メッセージ

「総論では、テーマ別にドキュメンタリー映画を再考していこうと思う」

ドキュメンタリー映画とは何だろう。真実の映画？ まさか。ニュースはドキュメンタリーなのか？ まさか。ドキュメンタリー映画を定義しようとすると、常に例外的な作品がでてくる。それは、劇映画をもその一部に取り込んだ、ほぼ映画の同義語なのではないか。過去4回、年代順に、創成期から70年代あたりまでの作品を見てきたが、今回、13回にわたり、テーマ別にドキュメンタリー映画を再考していこうと思う。序章としての佐藤真の映画史。彼は何を受け継ぎ、どこへ行こうとしていたのか。2回から4回までは、映画のドキュメント性とフィクション性が、どう織り成され

ているのかを検証していく。ドキュメンタリー映画は狙って撮った素材と偶然撮れてしまった素材をどう組み合わせるかという問題でもある。そのことをある意味究極の素材である戦争を通して考えるのが、5回から8回までもと言える。9回から12回は、時間と空間の考察となろう。ショットが撮れるとはいかなることなのか。最終回は、まったく似ていないようで、どこかで繋がっているようにも思えるランズマンとワイズマンを比較しながら、ドキュメンタリーにできることを考えてみる。それは、映画は歴史に似ているのかということかもしれない。

筒井武文

開講日とテーマ ※全日土曜日17:00-19:30

▶プロローグ：佐藤真は何を受け継ぎ、どこへ行こうとしていたのか（1回）

2016年5月7日（土）

第1回 佐藤真と佐藤真の映画史

▶映画のドキュメンタリー性とフィクション性は、どう織り成されているのか（3回）

6月4日（土）

第2回 社会の仕組み—ジガ・ヴェルトフと土本典昭

7月2日（土）

第3回 フラハティとフィクションの問題

8月13日（土）

第4回 ゴダールの映画はすべてドキュメンタリー映画である

▶ドキュメンタリー映画は狙って撮った素材と偶然撮れてしまった素材をどう組み合わせるかという問題でもある（4回）

9月17日（土）

第5回 構成の力—亀井文夫とルーペ論争

10月8日（土）

第6回 戦争プロパガンダとしての記録映画—キャブラ、フォード、イヴェンス

11月5日（土）

第7回 最前線物語—ジョン・ヒューストンとウィリアム・ワイラー

12月3日（土）

第8回 英国ドキュメンタリー運動の到達点—ハンフリー・ジェニングス

▶時間と空間の考察—ショットが撮れるとはいかなることなのか（4回）

2017年1月21日（土）

第9回 戦後日本の記録映画運動—野田真吉と松本俊夫

2月4日（土）

第10回 空間の変換—ドライヤー、羽仁進、レネ、クルーザー、吉田喜重

3月4日（土）

第11回 音を見る—クルーザー、モンサンジョンから、ソクーロフまで

4月15日（土）

第12回 撮影の意味—瀬川順一、大津幸四郎、田村正毅

▶エピローグ：ドキュメンタリー映画にできること（1回）

4月22日（土）

第13回 ランズマンとワイズマン

※講師のご都合により、日程が変更になる可能性があります。

定員 80名

受講料／申込方法

全13回受講：15000円 ▶映画美学校ホームページ(<http://www.eigabigakkou.com>)よりお申し込みください。

1回受講：1800円 アテネ・フランセ文化センター会員／映画美学校生：1500円 ▶当日会場にてお支払いください。

※ 後日開講予定の映画美学校ドキュメンタリー・コース研究科の受講者は、ドキュメンタリー・コース研究科の受講料が、「ドキュメンタリー映画史」の受講料割引となります。研究科申し込みの際に、映画美学校事務局までお申し付けください。

お問合せ＆会場

アテネ・フランセ文化センター

JR御茶ノ水駅・水道橋駅から徒歩7分

東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4階

TEL.03-3291-4339(13:00-20:00)

<http://www.athenee.net/culturalcenter/>

